



## コロナ トピックス

### 【ランサムウェア被害 8割はテレワーク】

警察庁は、身代金要求型（ランサムウェア）の被害を受けた企業・団体へのアンケート結果を公表。テレワークに関する機器や機能から感染したケースが8割。新型コロナウイルス禍を受けた生活の変化により被害増大の実態が浮かぶ。

感染経路は、在宅ワークなどで利用される「VPN（仮想専用線）」が有効回答の半数を超え、自宅などから会社のパソコンを遠隔操作できる機能「リモートデスクトップ」などもあった。他には不審メールや添付ファイルなどがあった。

復旧にかかった時間は「一週間以上」が4割。調査、復旧の費用は1000万円以上が約4割。

ウイルス対策ソフトなどを導入していた44件のうち、7割は検出がなかった。適切な対策ソフトの選択や設定をしていないと被害防止に結びつかないケースがあるとみられる。

また、警察庁は「感染経路の判明につながり、再発防止に役立つ」としてログ（通信記録）の保存を求めている。

### 【長崎大「第6波」を試算】

長崎大学の研究グループは、福岡県に出ている新型コロナウイルス対策の緊急事態宣言が延長された期限（9/30）で解除された場合、11月下旬に感染の「第6波」のピークが来るとシュミレーション結果を明らかにした。ワクチン接種が進むことで感染者数は現在の第5波を大幅に下回り、明光が見えてきている。

しかしながら、シュミレーションは、ワクチンの効果を低下させる「ミュー株」などの影響は反映していない。宣言解除後もマスク着用、3密回避などの生活様式を続けることが必要な様だ。

### 【地下鉄七隈線 新車両陸揚げ～博多港に到着～】

福岡市地下鉄七隈線に導入される新車両「3000A系」の1編成（4車両）が日立製作所で完成。博多港に陸揚げされた。天神南駅-博多駅の延伸区間が2022年度開業予定。

新型コロナウイルス対策でつり手や手すり、座席に抗菌・抗ウイルス素材を使用。

## 「歩きスマホなぜ衝突」研究

ユニークな科学研究などに贈られる「イグ・ノーベル賞」は、「歩きスマホ」で歩行者同士がぶつかりそうになるのかを実験で調べた京都工芸繊維大のMら日本の研究チームが「動力学賞」を受賞。

チームは、横断歩道の様な場所で二つの歩行者集団が向かい合ってすれ違う際、一部が「歩きスマホ」をしているだけで本人だけでなく周りの人も歩行が乱れ、ぶつかる直前に大きくかわすようになることを実証。スマホに目を奪われると、衝突の危険が高まると結論づけた。





## アテンション トピックス

### 【混浴年齢引き下げ次々】

全国の自治体で公衆浴場や温泉施設の混浴可能年齢を6歳までに引き下げる動きが相次いでいる。厚生労働省が2020年、昭和の時代から「10歳以上」のままだった、混浴を制限すべき年齢の目安を「7歳以上」に変更したのを受け、各地で見直しの動きがある。

きっかけは、聖心女子大のU教授グループが発表した調査報告による。アンケート調査では、約半数以上の回答で「年齢に応じて一律に子どもの混浴を禁止すべき」と回答し、そのうち約半数は禁止すべき年齢を6~7歳と答えた。

外国人観光客の中には、子どもとはいえ同じ浴場に異性がいることに抵抗がある人も多いため、年齢の引き下げが必要と指摘する声もある。

### 【制御侵入 高級車盗む 被害額10億円超？】

兵庫、埼玉、千葉の3県警は、モバイルバッテリー型の小型機器を用いて自動車の制御システムに侵入し、解錠やエンジン始動を行う「CANインベーター」と呼ばれる新たな手口も用い高級車を繰り返し盗んだとして、窃盗などの疑いで男5人を逮捕や書類送検するなどして捜査を終えたと発表。被害は約車200台など総額10億3000万円に上る。

### 【24年パリ大会 五輪とパラ、垣根取る】

フランスのS障害者担当副大臣は、都内で記者会見を開き、2024年パリ五輪・パラリンピックは「五輪とパラリンピックの垣根を取り払う大会にする」と述べた。大会ボランティアの6%を障害者にする考えを示し、あらゆる人々の社会参画の必要性を強調した。

大会では、最大5万人を予定する大会ボランティアについて「障害者の割合を6%の3000人にすることが目標」とし、五輪開幕の段階から登用するとした。

## 世界一の応援団

プロ野球・福岡ソフトバンクホークスの本拠地、福岡ペイペイドーム(福岡市中央区)の外野スタンドに設置されているソフトバンクグループの人型ロボット「ペッパー」100体の応援団が「最大のロボット応援団」としてギネス世界記録の認定を受けた。

